

# 米軍再編

岡本 由希子

## 合意してないプロジェクト

大きなカーブを曲がろうとしている現在のシエにあって、くりかえし思いたされる、ひとつの言葉を紹介したい。

一九五九年。土地を守る四原則貫徹をかかげて恒久的な軍事施設建設のための強制土地接收にたちむかった「島ぐるみ闘争」が、米軍の強硬な弾圧と切り崩しによりつぶされていった。あと、闘いを続けながらも無力感と怒みの渦中にあった伊江島の阿波根昌鴻さんは、沖縄を訪れた世界人権連盟のロジャー・ポルトワイン議長に対して質問した。「日米両政府はわしらの家を焼き、農民を縛り上げ、土地を取り上げて、核戦争の準備をしておりますが、これを止める方法がありましたら教えてください」

《どんなに苦しいことをいっつか、と思っていたら、ポルトワインさんの答えは簡単でした。「みんなが反対すればやめさせられる」、こついわれたのです(阿波根昌鴻『命こそ宝』岩波新書)

「みんなが反対すればやめさせられる」この答えを深く考え、そして得心した阿波根さんについて、以後の長い闘い、自

分の土地を基地に使わせないための闘いの、この言葉は大きな支えであったという。

「みんなが反対すればやめさせられる」

そんな単純な、と思われるならば、振り返ってみてほしい。これまで沖縄が大きなカーブを曲がろうとするたびに、住民の主体的な異議申し立てや抵抗が、横取りされ発言をこぼつていくくり返しのおかげ、ほんとうに「みんなが反対」できたことがあったのだろうか。

もうわたしたちは知っている。当初は「みんな」であったものが、そとでなくなつていった時に、「みんな」でなくなった力はどこからどのように加えられたのかを。そしてすでにわたしたちは知っている。いま再び大きなカーブを曲がり、こねることほもうできない、ぞ。

在日米軍再編の中間報告・日米政府の住民無視の徹岸本城な「合意」に対して、「わたしたちは合意などしていない」といった一点を、沖縄に住む者「みんな」の共通する声として擲いたし、目に見えるかたちにしていくと、「合意してないプロジェクト」が立ち上がった。十一月最後の二週間をうけ、十一月最後の二週間にうけ、十一月の下旬にかけて、島の内外で同時多発的に「合意してない」を掲げたデモ行進を行つていくものだ。

呼びかけ人のひとり、阿部小涼さん(琉大教員)は、コンセプトを以下のように語る。①今、可能ならベスト。あるいはベストに向かうための思考を鍛える場を。②完成された企画

でなくともよい、まず第一弾という気楽さ。③非系統的、非中心的、非組織的な実践を、抵抗運動の再創造に。④想像力で

# 抵抗運動の再創造を 「皆が反対すれば止められる」

つながら。昨年へのり墜落・米軍による大学占領という事態に対して異議申し立てのさきまを取り組



「おかもと・ゆき」1967年那覇市生まれ。編集者

みをおこなった大学関係者の連絡網を継続・発展しつつ、そこから広がったネットワークに、大学生・大学院生、会社員、編集者、フリーター、芸術家、学芸員などが乗り合い、口コミやメールで情報を交換しあいアクションを企画する中で、参加者は日々増え続けている。

現在決定しているアクションを紹介しよう。

「シスター・スワップ」。十一月二十三日から三十日の一週間、沖縄大学ミニシスターにて午後一時から八時まで、沖縄をめぐる映像の連続上映、トーク・ミニ・シンポなどを日替わりで開催。詳細なプログラムは後日発表されるが、「復帰」前後の揺れる沖縄を渦中でとらえた森口毅のドキュメンタリー作品や、シエの重層する記憶をフアンタジーとして浮上させ、わたしたちの歴史的想像力を解放する高橋剛監督作品、琉球弧を記録する会の『島トラバで語る戦世』、辺野古を撮ったドキュメンタリーなどを予定している。期間中、ミニシスターは合意してないプロジェクトの日々更新されるアクション情報を掲示し、プログラムを配布する、スワップル(交差点)の役割を担う。

「自由・開放・大学企画」。参加者の多数を占める大学教員たちがワークショップしながら、自分の授業の二コマを公開するもの。大学の授業なんて難しそう、など思わずに、気軽にのぞきに来てほしい。いま沖縄はどうなっているのか、これからどうしていけばいいのか、知識を学びあい、知恵をたしあい、わかちあう、絶好の機会であ

あるのだが、公開授業を感えた各、してないプロジェクトの学生たちも独自の実践をはじめ、間シエのあつた声で増幅している。このプロジェクトを願つて、くりかえし、対すれば、「同意」の「詳細」のりサイト、Okinawaの問い合わせ、@Okinawa【プロジェクト】十一月十日(沖大) arino e: 辺野古の藤本幸久、日午前十時、5-1106、部小涼「シ」辺野古の今、時四十分、(大)新理、体と日本軍、十四日後、大法101、哲学から、八日後二、112室)文化ミニエ、十九日後、大共通教育、村雅美・阿、海正三・奥、る、三十、ら(琉大法、夫・田仲康、治「沖縄を

